平成３０年度

若手教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）

◆ 平成 30 年 7 月 23 日（月）
～
7 月 25 日（水）

特別支援学校の初任者を対象に，本教育研２泊３日の宿泊研修を行いました。

１日目は,「知的障害特別支援学校に在籍する児童生徒の理解と支援」「不適応行動への対応」。２日目は,「本県の医療的ケアの実際」「重度・重複障害児の指導」「AED を使用した心肺蘇生法」。３日目は,「障害児の食事指導」「児童生徒の介助」「自立活動の指導の実際」等が行われました。特別支援学校の教員としての専門性を高めるための内容を中心に，研修に取り組みました。大学の先生からの心に響く熱い講義，活発な研究協議，実習など，多様な研修プログラムに，緊張感をもちながらも熱心に取り組んでいました。

そして夜は，リラックスした雰囲気の中，指導主事も交えながら，情報交換やレクリェーション活動を行いました。同期の受講者同士の話は尽きないようで，食堂前のサロンには，楽しそうな声がいつまでも響いていました。

非常に暑い３日間でしたが，専門性の向上を図り同期の絆を深めるなど，熱く充実した３日間になりました。

宇都宮大学の岡澤慎一先生の講義では，重度・重複障害児の指導について，多くの事例から指導の在り方を学ぶことができました。

日本赤十字社茨城県支部の方を講師にお招きし，AED を使用した心肺蘇生法の実習を行いました。初期対応の大切さを実感しました。

茨城県理学療法士会の石川公久先生から，人間の動きの原理に基づいた介助方法について学びました。介助の動きを実践するたびに驚きにあふれていました。